
混成錬金

るうな

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

混成錬金

【Nコード】

N2985F

【作者名】

るつな

【あらすじ】

オリジナルストーリー 面白おかしく作れちゃってますwwwどうぞ足を運んでください

プロローグ

「神の領域い？んだよ、それ？」

旅の途中で聞いた、『神』という言葉。その村の人たちは、口を揃えて、こう言う。

「うちの村を治めている村長さんは、そりゃあ凄いだ！！」
「何が凄いだよ……」

そう訊くと。

「例えばこの小麦をパンに出来るんだ！」

とか、

「このワインを水にするんだよ！」

とか、

「この鉄を鋼にするんだぜ！」

とか……。

どうやらこの村の人達は、これを

『神の領域に踏み込む、とにかく凄い業』
……っていう風に思い込んでるらしい。

「……どー考えても……混成錬金……だよなア……」

混成鍊金。ただの鍊金とは、多少違う。

混成鍊金とは、物の質量が完全に無視できる、凄い技術。ま、その分物の強度は下がるけど。スッカスカになるんだ。質量がねえってのは、そーゆー事。

ただ、無から有は作れない。そこら辺は同じだ。それから…構造的に全く違う場合は、作れない。

「あゝ…腹、減ったなあ…。草、ねえかなア…。あ」

草は、パンになる。ほら、パンの原料の小麦って、植物だろ？

つまり、植物⇨パン…みたいな感じでムリヤリ鍊金できる。

…こんなむちゃくちゃな事が出来んのは、混成鍊金だけだ。

だから、かなりムチャすれば、細胞の一部が一致してるっていう理由で

植物から動物を作る事も可能っちゃあ可能。

でも、肉体の鍊金が出来ない。

その肉体の成分が分かっても、材料が全て揃ってても、ダメなんだ。

肉体を作れるのは、肉体だけ。

どんな便利な技でも、穴はある。

そして、その技が便利であれば便利であるほど、その穴はでかい。この混成鍊金の穴は、肉体が作れないことだ。

これは、混成鍊金の掟。

「よっしゃあつ！草あんじゃん！…何個作れっかな…」

でかいもん1つ作っても持ち歩きに不便だしなあ…。」

色々考えんのも面倒だしな…とにかくやっちゃまうか。

トン、と地面を叩く。

その場所から線が出て、形を作る。いわゆる『陣』ってやつだ。

俺の場合、別になくてもいいんだけど…なんか暇だしな。

「うーん…3つ…か」

出来たものに、愚痴。

まあ、こんだけ草が少なかったらしゃーないけどな。

とにかく腹に入れば同じ同じ！…とばかりに一気に口に入れる。

「旅のお方…かな？」

不意に、後ろから声をかけられる。

驚きでパンを5回も噛まないうちに飲み込んでしまい、呼吸困難になりながら後ろを振り向くと、

全く知らない、優しそうなおっさんが立っていた。

「…おっさん…誰？」

この言葉を口にして、

やば…初対面にこの言い方はねえか…。

と思う。

つい、昔の癖が出る。

だけど、俺のその不安とは裏腹に、その外見と同じような、優しい声が返ってきた。

「私はこの村の村長。アイク、という者です」

こいつが…村長か。例の、

『神の領域に踏み込む、とにかく凄い業』を使う奴だ。

「俺はウィンディ・アドバール。ただのしがない旅人…とでも言っ

とこーか？」

あえて、俺が『混成錬金師』っていうのは黙っとく。
こいつをちよつと観察しとくか…。何か気になるし。

「えーと…アイク、さんだっけ？俺、今日泊まるトコねーんだ。
アンタんとコ、泊めてくんねーか？」

さすがに無理矢理すぎか…？内心そう思ったが…。

「ああ、いいよ。すぐだからね。付いて来なさい」

外見と声が優しい奴は性格も優しいみたいだ。…内心はどうだか知らねエけど。

「ども。1日でいいんで、そんな気イ使わなくていいーぜ？」

「そんなそんな。長い旅で疲れているでしょう？」

大丈夫ですよ、こちらに氣を使わなくても」

…どこまで優しいんだ、コイツは…？逆に怪しいだろ…。

そう思いながら、村長・アイクについて行く。

3分も歩かないうちに、

「ココだよ。空き部屋はたくさんあるからね。好きに使つといい」
とか言われて、流れるように中に入れられた。

「うつわ…すげーな…。さすが村長…」

全ての空き部屋に、シングルベットが置いてある。
これが、村長の『格』…というやつなのだろうか。
この凄さに、ほとほと呆れる。

ま、泊まるこつちにとつちや良いんだけどな。
部屋にドサッと荷物を置くと、伸びをする。
伸びが終わった瞬間、玄関のドアが開く音がした。

プロローグ（後書き）

ちよつと長いかな…（^^；

もし最後まで読んでくれた方がいらっしやったら、どうぞコメント
お願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2985f/>

混成錬金

2010年10月11日01時03分発行